文部科学大臣杯
第 12 回全日本少年春季軟式野球大会日本生命トーナメント
監督主将会議資料

主　　催：公益財団法人全日本軟式野球連盟

主　　管：全日本軟式野球連盟静岡県支部【(一財)静岡県野球連盟)】

後　　援：スポーツ庁・スポーツニッポン新聞社・全国新聞社事業協議会

特別協賛：日本生命保険相互会社

会　　期：令和 3 年 9 月 18 日（土）～21 日（火）　予備日：22 日（水）

会　　場：【A】静岡県草薙運動場硬式野球場

【B】静岡市清水庵原球場

【C】静岡市西ヶ谷総合運動場野球場

【D】焼津市総合グラウンド野球場

【E】島田球場

【F】富士総合運動公園野球場

【G】沼津市営野球場

【H】磐田城山球場

【I】磐田市豊岡野球場

【J】菊川運動公園野球場

目次

1. 大会注意事項
・注意事項　・・・

文部科学大臣杯第 12 回全日本少年春季軟式野球大会日本生命トーナメント
『ご出場おめでとうございます』

厳しい予選を勝ち抜かれ、見事に代表になられた貴チームの皆さんを心から歓迎申し上げます。
大会参加につきましては、格別のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

＊「監督・主将会議」は実施しませんので、配布資料は全てご確認下さい。

1. 本大会の「実施要項」及び「本紙ならびに同封資料」を確認してください。
2. 公認野球規則（2021 年版)、競技者必携（2021 年版）に定める規則及び内規については、登録全選手に周知してください。
3. 開会式は実施しません。
   ただし、競技 1 日目(9 月 18 日)の静岡市西ヶ谷総合運動場野球場の第一試合に出場する 2 チームを対象に開始式を実施致します。第一試合に出場する 2 チームはご協力をお願い致します。
4. 本大会では医療関係者（看護師）が常駐します。傷害、熱中症の対応が主となります。
   新型コロナウイルス感染症に関しては、指定医療機関の確保はありませんので、体調不良者発生時は、ガイドラインに記載の「受診・相談窓口」に問合せ下さい。
5. 健康保険被保険者証、その他これに準ずるものをご持参下さい。
6. 新型コロナウイルス感染予防対策として、健康チェックシートを毎試合大会本部に提出してください。また、行動管理シートは、大会終了後、14 日間まで記載し、主催者より提出を求められた場合には、提出をお願いします。様式は全日本軟式野球連盟ホームページからダウンロードしてください。
7. スタンド観戦するチーム関係者（保護者）は、試合終了後は、各チーム初戦の受付時に主催者側から配布する**除菌シートで使用した席を消毒してから退席してください。**
8. 今大会は、当該チームの応援のみスタンド開放をしています。**他チームの視察や友情応援などは、感染予防対策の観点や行動管理の徹底からも禁止とします。**なお、チーム帯同する範囲は、ベンチ入りメンバー以外の選手、保護者（1 選手につき 2 名まで（選手の兄弟姉妹は来場可))、所属都道府県中体連関係者 2 名までとします。
9. 大会記念写真撮影、販売について、本連盟指定写真業者の㈱共同写真企画が担当します。集合写真撮影については、各チーム初戦時にカメラマンがお声がけしますので、ご対応をお願いします。
10. ごみは必ず各自でお持ち帰りください。

11. 大会参加には十分に留意いただき、持ち物点検など万全を期してください。

2021.09.1

文部科学大臣杯 全日本少年春季軟式軟式野球大会　確認・注意事項

公益財団法人　全日本軟式野球連盟

§１　競技運営に関する注意事項

１　球場の開門は、試合開始 90 分前とする。

２　監督会議で説明または決められた事項は、必ずチーム全員に徹底すること。

３　参加申込書（登録原簿）提出後は、選手の追加、変更および背番号の変更は認めない。

４　ベンチは組み合わせ番号の若い方を１塁側とする。
ただし、１チームが２試合続けて行う場合はベンチの入れ替えをしないことがある。

５　チームは試合開始予定時刻の 60 分前までに球場に到着し、大会本部から打順表を受け取ること。

６　ベンチに入れる人員

（１）登録されユニフォームを着用した監督 30 番、コーチ 29 番・28 番および選手 20 名以内と、代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各１名とする。
ただし、監督、コーチは成人者でなければならない。

（２）熱中症対策として、保護者２名以内がベンチに入ることができる。

７　打順表（登録された選手全員を記入したもの）の提出は、その日の第 1 試合は開始予定時刻の 30 分前までに、第 2 試合以降は前の試合の 4 回終了時に監督と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもとに攻守を決定する。

８　シートノック

（１）補助員としてコーチ（背番号 28・29）認める。
補助員は、ヘルメットを着用すること。なお、コーチ１人のブルペン捕手を、試合開始までの間許可する。（マスク着用）

（２）後攻チームより、時間は５分間とする。

（３）ノッカーも必ず選手と同様のユニフォームを着用し、捕手はプロテクター、レガーズ、捕手用ヘルメット、ファウルカップを必ず着用すること。

（４）大会運営上、シートノックを行わずに試合を開始することもある。この場合は、攻守決定時に通知する。

９　球場内では、トスバッティングのみ認める。

10　その日の第 1 試合に出場のチームは、外野に限り練習に使用してもよい。その際、アップ用の服装（同一が望ましい）でもよいが、打順表の提出時には、全員がユニフォームに着替えていること。
第 2 試合以降のチームは、試合開始予定時刻に関係なく、前の試合が終了次第シートノックを行うので、終了挨拶の間にグラウンドに入り、ベンチの外野寄りに用具を置きキャッチボールを行う。ベンチは、消毒後使用可能とする。

11　次の試合の先発バッテリーは、攻守決定後、球場内のブルペンを使用することができる。

12　選手の交代は、監督がタイムを掛け球審に申し出ること。

13　突発事故の際のタイムについて（規則 5.12b(3)(8)関連）

試合中、プレーヤーの人命にかかわるような事態が発生した場合、人命尊重を第一に、プレイの進行中であっても、審判員の判断でタイムを宣告することができる。この際、その宣告によってボールデッドとならなかったらプレイはどのようになったかを判断して、ボールデッド後の処置をとる。

14　打者が頭部にヒット・バイ・ピッチを受けたときには、球審は攻撃側の監督と協議し臨時代走の処置を行うことができる。塁上の走者が負傷した場合で、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断したときは、臨時代走の処置を行うことができる。

15　ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用を禁止するが、電子スコア記録用として１台の使用を認める。

指示用メガホンは、ベンチ内に限り 1 個使用を認める。

16　第 2 試合以降は、試合開始予定時刻前でも、前の試合終了した後 20 分を目安に次の試合を開始する。

17　ダブルヘッダーは、1 日 2 試合まで行うことができる。継続して試合を行う場合は、試合終了後 30 分を目安に開始する。特別継続試合は、これに抵触しない。

18　試合開始予定時刻になっても会場に到着しないチームは、原則棄権とみなす。

19　雨天の場合

(1) 雨天の場合でも日程の都合上、球場が使用可能な場合は試合を行う。

(2) 当日試合を全く行わない場合と、午前中見合わせて午後から行う場合もあるので、大会本部からの連絡に注意すること。なお、当日試合が不可能な場合には大会本部から連絡する。

(3) 試合中雷が発生した場合は、状況を判断し、試合を中断して全員安全な場所に避難させ、気象台等の状況を掌握し、その後の処置を行う。

20　試合中、ベンチ前のキャッチボールは禁止するが、場内のブルペンでキャッチボールを行う場合、その人数は 2 組（4 名）以内を認める。

21　試合の挨拶は、試合前後の本塁整列の挨拶が全てである。チーム・大会本部および相手チームへの挨拶は不要である。（応援団への挨拶は奨励する）

試合に敬意を表し、本部役員も起立し合わせて挨拶する。

§２　競技に関する連盟特別規則

１　正式試合

(1) ゲームは 7 回戦であるが、暗黒、降雨などで 7 回までイニングが進まなくとも 5 回を終了すればゲームは成立する。

(2) 健康を考慮し、5 回終了以降、試合開始後 2 時間 30 分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。

(3) コールドゲームの得点の扱い

連盟では、すべての均等回の得点とする。例えば、両チームが、5 回の攻撃を均等に完了し、6 回表に先攻チームが得点したが、後攻チームはその裏、同点もしくはリードしないままに、暗黒・降雨などにより試合中止を宣せられたような場合には、均等回の得点をもって勝敗を

決する。

2　延長戦

7 回を完了して同点の場合、または 5 回終了以降、試合開始後 2 時間 30 分を経過し同点の場合は、延長戦を行わずに直ちにタイブレーク方式とする。

3　タイブレーク方式

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。すなわち、0 アウト一・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。

4　特別継続試合

(1) 暗黒、降雨などで 5 回以前に中止になった場合、または 5 回を過ぎて正式試合になって同点で試合が中止になった場合は、翌日の第 1 試合に先立って特別継続試合を行う。

(2) 5 回に満たない場合は、打ち切りになったところから試合を行う。5 回に達した場合には、コールドゲームが適用される。

5　抗議権を有する者

監督か当該プレーヤー。

6　監督に限り、グランドに出て指示することができる。

7　投球数制限について

選手の肘、肩の障害予防として、一人の投手が 1 日に投球できる数は、下記の取り扱いとする。この投球数制限は、選手が安全に安心して健康で野球を楽しむことを目的としている。

【少年部】

① 1 日の投球数は 100 球以内

② 1 週間 350 級以内

【投球数管理運用】

① 試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。

② ボークにもかかわらず投球したものは、投球数に数える。

③ タイブレークになった場合、1 日の規程投球数以内で投球できる。

④ けん制球や送球とみなされるものは投球数としない。

⑤ 投球数の管理は、大会本部が行う。

8　投手が投球動作を開始したら投手の動揺を誘う声を発しない。

9　攻守交代時に限り、控え選手がファウルグランドに出て外野方向へランニングすることを認める。

10　次打者は、次打者席で投手が投球動作を開始したら素振りをしてはならない。投球を注視すること。

11　守備側のタイムの回数制限

(1) 捕手または内野手が、1 試合に投手のもとへ行ける回数は、3 回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）となった場合は、1 イニングに 1 回行くことができる。野手（捕手を含む）が投手のもとへ行った場合、そこへ監督が行けば、双方 1 回として数える。逆の場合も同様とするが、投手交代の場合は、

監督の回数には含まない。

(2) 攻撃側のタイム中に守備側は指示を与えることができるが、攻撃側にタイムより長引けば守備側も1回とカウントされる。

12　攻撃側のタイムの回数制限

(1) 攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）は、1イニングに1回とする。

(2) 守備側のタイム中に攻撃側は指示を与えることができるが、守備側のタイムより長引けば攻撃側の1回とカウントされる。

13　タイムは、1分以内を限度とする。

14　投手は、捕手、その他の内野手または審判員からボールを受けた後、走者がいない場合には12秒以内、走者がいる場合は20秒以内に投球しなければならない。違反
した場合、走者が塁にいない場合はただちにボールを宣告し、走者がいる場合は警告を発することとし、同一投手が２度繰り返したら、３度目からはその都度ボールを宣告する。

15　試合中、スパイクの紐を意図的に結び直すためのタイムは認めない。

16　内野手間のボールの転送は一回りとする。最後にボールを受けた野手は、定位置から速やかに投手に返球すること。

17　装具・用具に関する事項

① 捕手用ヘルメットとマスクの一体製品は使用できない。

② バットは改造、加工したものは使用できない。

19　以上特に注意すべき事項であるが、競技は野球規則・競技者必携に準じて運用する。

以　上

第 3 位表彰・閉会式について

1. 第 3 位表彰は、準決勝終了後に各会場でそれぞれ行います。
2. 閉会式は、決勝戦終了後に行います。

第 3 位表彰次第

1. 日時・会場：令和 3 年 9 月 21 日（火）
   準決勝【A 会場　静岡県草薙運動場硬式野球場】第一試合　終了後
   準決勝【B 会場　静岡市清水庵原球場】第一試合　終了後
2. 次第：

順序	時間	役員整列	要領・備考
1	10:55 （12:55）	選手・役員整列	
2	11:00 （13:00）	開式通告	司会者
3	11:03 （13:03）	表彰	①　全日本軟式野球連盟賞状 ②　第 3 位楯 ③　スポーツニッポン新聞社賞 ④　全国新聞社事業協議会賞 ⑤　日本生命賞 ⑥　第 3 位メダル ＊各選手が表彰盆から受け取り自身で首にかける
4	11:18 （13:18）	閉式通告	司会者
5	11：19 （13:19）	選手退場	
6	11:20 （13:20）	役員退場	

➢ 第 3 位チームは 5 名が代表して授与を受ける。

閉　会　式　次　第

1.　日時：令和 3 年 9 月 21 日（火）
　　決勝戦終了後（15 時 30 分）予定
2.　会場：静岡県草薙運動場硬式野球場
3.　次第：

順序	時間	次第	要領・備考
1	15:25	役員整列	
2	15:30	選手入場	行進曲
3	15:33	開式通告	司会者
4	15:34	成績発表	全日本軟式野球連盟　専務理事　小林三郎
5	15:35	表彰	■優勝チーム ①　文部科学大臣杯 ②　文部科学大臣表彰状 ③　優勝旗 ④　全日本軟式野球連盟賞状 ⑤　優勝楯 ⑥　スポーツニッポン新聞社賞 ⑦　全国新聞社事業協議会賞 ⑧　日本生命賞 ■準優勝チーム ①　全日本軟式野球連盟賞状 ②　準優勝杯(静岡県知事杯) ③　準優勝楯 ④　スポーツニッポン新聞社賞 ⑤　全国新聞社事業協議会賞 ⑥　日本生命賞 優勝・準優勝メダル授与 ＊各選手が表彰盆から受け取り自身で首にかける
6	15:45	挨拶	静岡県野球連盟　会長　戸谷野　宏
7	15:48	お礼の言葉	全日本軟式野球連盟　会長　武内繁和
8	15:51	国旗等降納	君が代
9	15:52	閉会宣言	全日本軟式野球連盟　専務理事　小林三郎
10	15:53	選手ダイヤモンド一周	行進曲

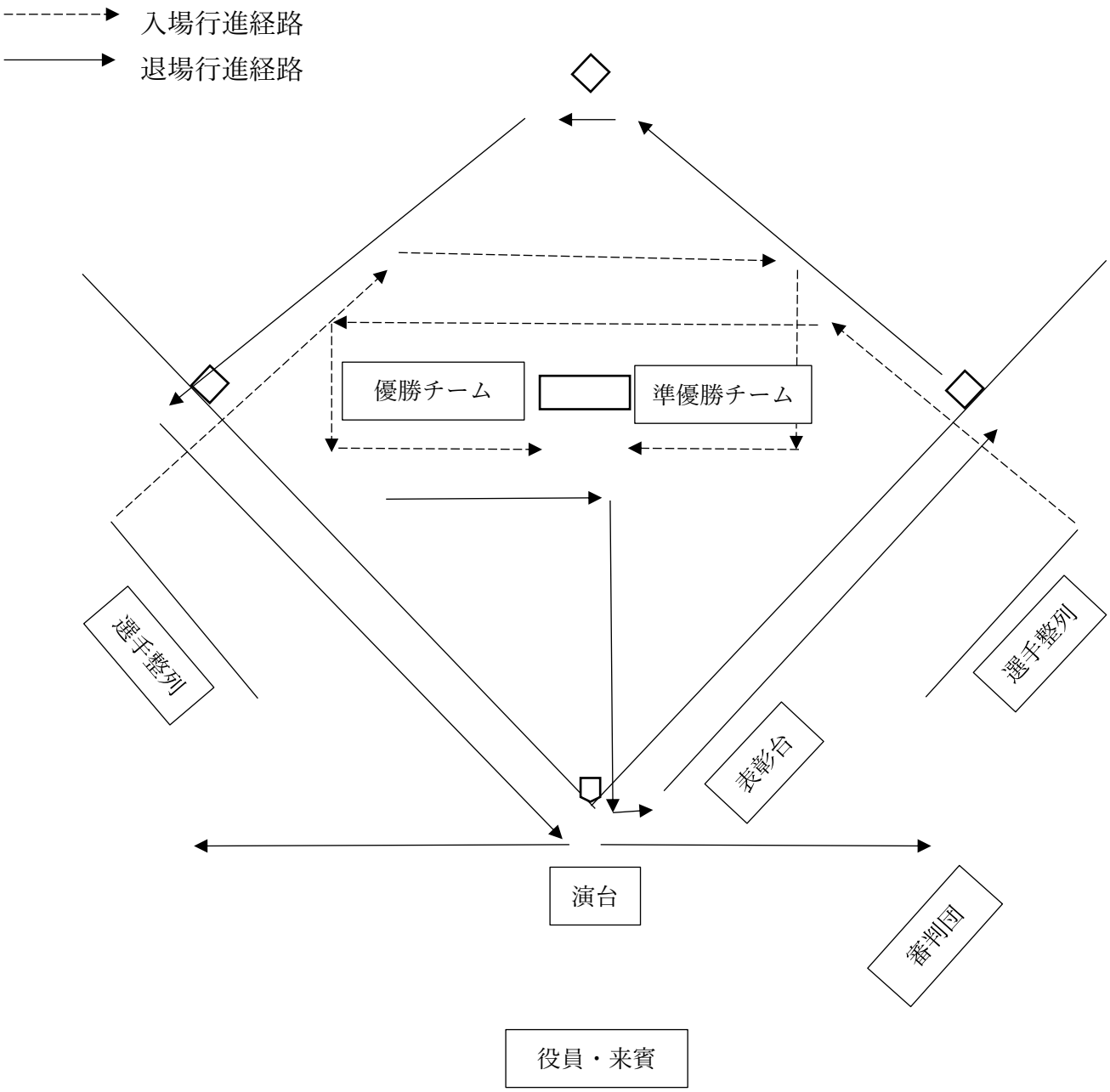
11	15:58	閉式通告	司会者
12	15:59	選手退場	
13	16:00	役員退場	

- 選手入場の際の先導は大会スタッフが担当する。
- 優勝チームは、8 名が、準優勝チームは 6 名が代表して授与を受ける。

閉 会 式 図 （ 1 ）

静岡県草薙運動場硬式野球場

【1 塁側チームが優勝の場合】



閉会式終了後、優勝チームを先頭にグラウンドを一周して退場する。

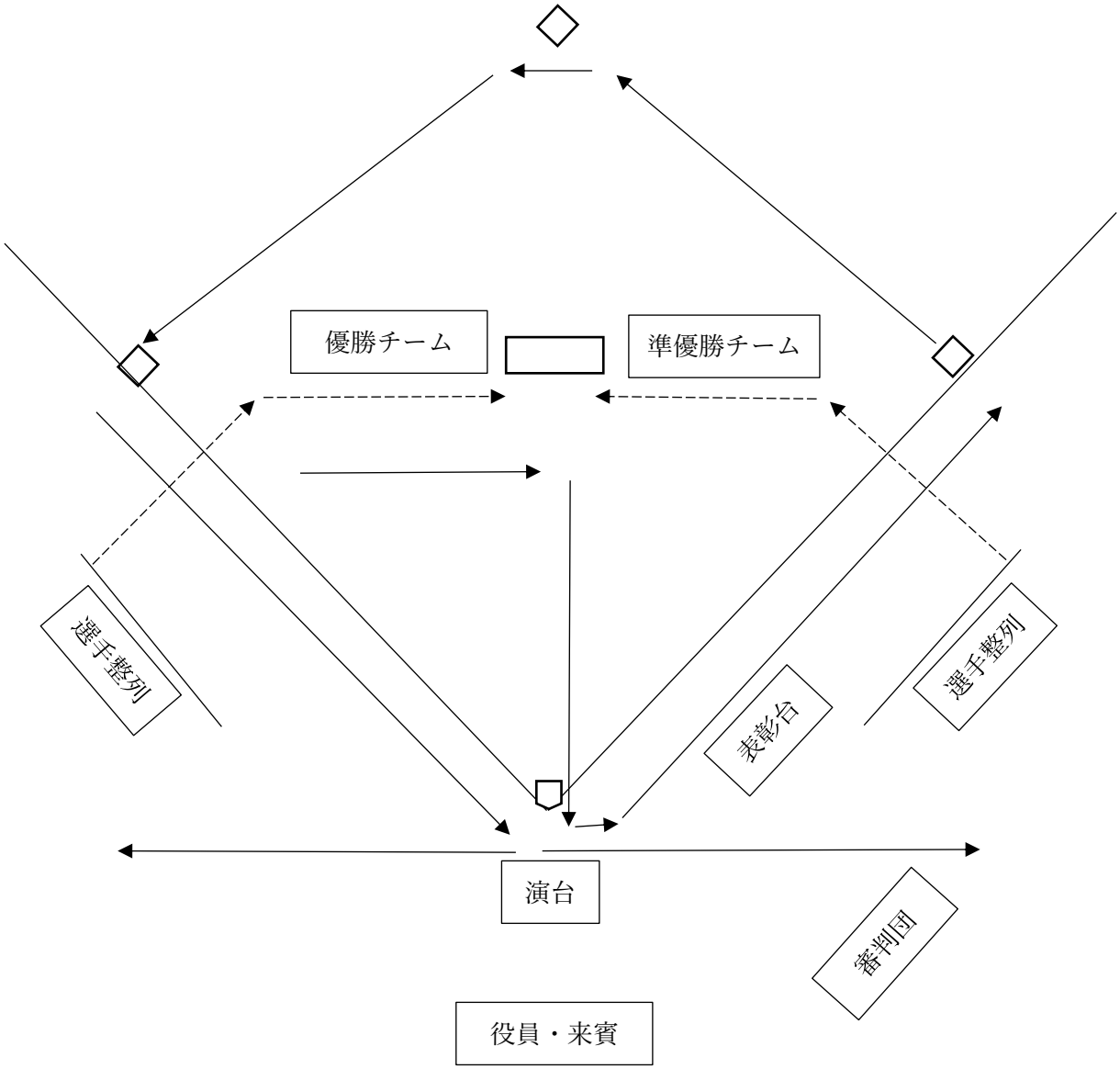
閉会式図（２）

静岡県草薙運動場硬式野球場

【3 塁側チームが優勝の場合】

--------→　入場行進経路

———→　退場行進経路



閉会式終了後、優勝チームを先頭にグラウンドを一周して退場する。

大 会 会 場 連 絡 先 一 覧 表

本 部 宿 舎	住　　所	電話・FAX番号
ホテル グランヒルズ静岡	〒422-8575 静岡市駿河区南町18－1	TEL (054) 284－0111 FAX (054) 289－5300

	会　場　名	住　　所	電 話 番 号
A	静岡県草薙総合運動場 硬式野球場	〒422-8008 静岡市駿河区栗原19-1	浅野；090－2571－1331 TEL 054－261－9265
B	シズオカシシミズイハラキュウジョウ 静岡市清水庵原球場	〒424-0114 静岡市清水区庵原3000	TEL 054－361－1189
C	静岡市西ヶ谷総合運動場 野球場	〒421-2116 静岡市葵区西ヶ谷8-1	浅野；090－2571－1331 管理棟 054－296－1900
D	焼津市総合グラウンド 野球場	〒425-0087 焼津市保福島950－1	TEL 054－629－3221
E	島　田　球　場	〒427-0024 島田市横井4丁目19-1	TEL 0547－36－2617
F	富士総合運動公園 野球場	〒417-0809 富士市中野671	吉川；090－5870－8008 TEL 0545－36－1140
G	沼 津 市 営 野 球 場	〒410-0045 沼津市泉町2－1	武井；090－1830－5667
H	磐 田 城 山 球 場	〒438-0086 磐田市見付190	TEL 0538－34－8986
I	磐 田 市 豊 岡 野 球 場	〒438-0116 磐田市壱貫地64－1	青嶋；090－7688－1333 体育館 0539－63－0036
J	菊川運動公園野球場	〒439-0037 菊川市西方898	中山；090－2138－6778